

Title	編集後記
Sub Title	
Author	
Publisher	三田哲學會
Publication year	1992
Jtitle	哲學 No.93 (1992. 1) ,p.419- 419
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00150430-00000093-0419

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

哲 学 第 93 集 —編 集 後 記—

湾岸戦争に始まりソ連邦解体に終わる今年ほど歴史の激動をさまざまと実感させられた年はない。一体何が人々の意識の中で胎動しつつあるのか、何がこの変革を生ぜしめているのか、定かには誰も答えられぬまま時代はうねり脈打ち続ける。変化の早さは恐らく誰の予想をも超えていよう。次の時代を見はるかすことのできぬこの世紀末にあって、改めて、人間社会の秩序は未だ一度たりとて確定されてきたことがないことを思う。現れ出てくるものは全て変わり、うつりゆき、とどまるなどを知らぬ。しかし、うつろいゆくかたちの奥底にあって尚変わり得ぬものが潜むのであろう。現れ出る

ものに目を奪われず現れの内に将に現れ出ようとしているものを問い合わせた古えの先哲たちの愛智の眼差しを、加速度的に早まる変化の時代であればこそ、一層今静かに想い起こすことが求められているように思われてならない。

新会長に海津忠雄先生を迎えて、93集目を重ねる今回の“哲学”には、愛智の息吹の、混迷の時代にあっての尚確かな継続を証するかのように、予想を上まわる多くの論稿が寄せられた。心から感謝する次第である。年二回の通常の発刊形式に戻る来年度においても是非優れた研究の成果が数多く寄せられることを願うものである。
(谷 寿美)

三田哲学会行事報告

1991年

- ◇ 3月9日(土) 三田哲学会臨時総会(研究室会議室、午後1時~2時)
 - 1. 会長の交替について
 - 2. 文学部100周年記念行事について
 - 3. その他
- ◇ 5月11日(土) 講演会(大学院校舎1階、311番教室、午後1時30分~3時30分)
「Foundation of Morals」
Prof. Dr. Ernst Tugendhat (ベルリン自由大学哲学科教授)
- ◇ 5月27日(月) 講演会(大学院校舎1階、311番教室、午後4時30分~6時)
「ラッセルとブッサーは現象学的還元について同じ考え方をもったか」
J. ヒンティカ (ボストン大学・ヘルシンキ大学兼任教授)
- ◇ 6月7日(金) 講演会(三田研究室B,C会議室、午後5時~7時)
「Education and the labor Market for Women: Findings from a Comparative Study of Japan, the U.S., and Korea.」